

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス HOORAY		公表日		令和8年 2 月 19 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	広いスペースを確保している。活動内容に応じて、発達支援室、学習室、個別スペースを有効に活用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%		人員配置基準としては満たしているが、余剰が必要と感じる場面がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じて個別に使用できる部屋やスペース、クールダウンルームを設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎月会議を行う、共有アプリの活用で日々の振り返りを行うなどしている。	勤務形態や個々の意欲にかかわらず参画できるような雰囲気づくりをしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		評価表をもとに、「強み」「弱み」を把握し発展、改善に繋げていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月会議を行う、共有アプリの活用で日々の振り返りを行うなどして意見を集約し、共通認識をもって支援を行うようしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内に教育研修室を設け、定期的に研修を行っている。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に、「本人が主役」であることを意識して計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	共有アプリを活用して「気づき」を蓄積し、アセスメントに活用するようにしている。	「気づき」の質、量ともに向上していく必要がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%		「地域支援・地域連携」については未だ不十分なので、今後、積極的に取り組んでいきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月、活動立案会議を行って多くの意見を集め、活動の幅が広がっていくよう努めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎月、活動立案会議を行って多くの意見を集め、活動が固定化せぬよう、幅が広がっていくよう努めている。		

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動、集団活動のバランスをとるにあたって「本人の意思決定」を尊重するようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	通所施設である特性上、療育提供前に打ち合わせを持つことが難しい場合があるが、共有アプリの活用により記録を整備し、療育開始前には情報共有ができるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	通所施設である特性上、療育提供後に打ち合わせを持つことは難しいが、共有アプリの活用により記録の整備を行い、翌日の療育開始前には情報共有ができるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の支援は個別支援経過として記録し、いつでも検証・改善できるようにしている。	より多面的に記録ができるよう、多くの職員が記録に携わっていく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	小さな選択の積み重ねが「自己決定」につながると考え、選択の機会を設定するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に、必要に応じてその他の職員が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%		相談支援事業所と連携してそのようなつながりを構築していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校との連携は不可欠と考え、積極的に情報共有できるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%		相談支援事業所と連携してそのようなつながりを構築していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%	未だ卒業した児童がいないが積極的に移行支援をしていきたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	67%	33%		未だ不十分なのでそのような機会を設けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%		未だ不十分なのでそのような機会を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33%	67%	近隣自治体の部会に参画している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡ノートの基本ツールとし、必要に応じて送迎時の伝達やメール等で共通理解を持てるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	研修やイベントなどの情報提供をできるよう意識している。	未だ不十分なので、各部会とのつながりを活かしたり、法人内の教育研修室と連携してそのような機会を設けたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を行っているが、ご質問には適宜お答えするようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	「本人の思い」を第一に、保護者の意向をくみ取れるよう意識している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%		保護者会は年に二回行っているが、兄弟同士の交流ができる機会は設けられていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	採用時に個人情報の研修を行い、適切に対応するようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	毎年度、安全計画を策定して取り組んでいる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	自然災害、感染症に対してBCPを策定し、必要な研修、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	新規契約時にフェイスシートを確認し、以降は毎年度更新していくことで把握に努めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	毎年度、安全計画を策定して取り組んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	共有アプリの活用で「ヒヤリハット」を共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	法人内に教育研修室を設け、定期的に研修を行っている。支援者間で	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	支援者で検討を重ね、本人または保護者に同意を得たうえで個別支援に記載し、慎重に運用するようにしている。	身体拘束に至らぬよう、環境整備の面で整えていく。	